

平成26年2月24日

1. 出席議員

議長 杉原豊喜
1番 朝長 勇
3番 上田雄一
5番 山口良広
7番 宮本栄八
9番 石橋敏伸
11番 上野淑子
14番 末藤正幸
16番 小柳義和
19番 山口昌宏
21番 牟田勝浩
23番 黒岩幸生
25番 平野邦夫

副議長 山崎鉄好
2番 山口 等
4番 山口裕子
6番 松尾陽輔
8番 石丸 定
10番 古川盛義
12番 吉川里己
15番 小池一哉
17番 吉原武藤
20番 川原千秋
22番 松尾初秋
24番 谷口攝久
26番 江原一雄

2. 欠席議員

なし

3. 本会議に出席した事務局職員

事務局 長 松本重男
次 長 友廣秀敏
議事係 長 川久保和幸
議事係 員 江上新治

4. 地方自治法第121条により出席した者

市		長	樋	渡	啓	祐
副	市	長	前	田	敏	美
教	育	長	浦	郷		究
技		監	松	尾		定
教	育	監	代	田	昭	久
政	策	部	松	尾	満	好
つ	な	が	宮	下	正	博
營	業	部	溝	上	正	勝
營	業	部	北	川	政	次
く	ら	し	山	田	義	利
こ	ど	も	蒲	原	惠	子
ま	ち	づ	森		孝	畑
山	内	支	山	下	知	行
北	方	支	坂	口		勉
会	計	管	成	松		薫
教	育	部	古	賀	雅	章
教	育	部	白	濱	貞	則
上	下	水	筒	井	孝	一
総	務	課	中	野	博	之
財	政	課	水	町	直	久
企	画	課	平	川		剛
選	挙	管	末	藤	彰	彦
監	査	委	森		博	文
農	業	委	田	代	昌	三

議 事 日 程 第 1 号

2月24日（月）午前10時開議

日程第1	会期の決定
日程第2	会議録署名議員の指名
日程第3	議長の諸報告
日程第4	市長の提案事項に関する説明
日程第5	教育長の教育に関する報告

開 議 10 時

○議長（杉原豊喜君）

皆さんおはようございます。ただいまより、平成26年3月、武雄市議会定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

市長から提出されました、第3号議案から第30号議案までの28議案及び報告第2号の1件を一括上程いたします。

日程第1 会期の決定

日程第1. 会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をいたしておりましたので、これに対する議会運営委員長の答申を求めます。吉川議会運営委員長

○議会運営委員長（吉川里己君）〔登壇〕

皆さんおはようございます。

平成26年3月武雄市議会定例会の招集に基づきまして、議長から諮問がございましたので、去る2月21日、議会運営委員会を開催をし、その結果につきまして、御報告を申し上げます。

議長から諮問がありました事項は、第1. 会期及び会期日程、第2. 付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、第3. 一般質問の質問順序について、第4. 各特別委員会の中間報告について、以上4項目でございます。

本定例会におきまして審議されます議案等は、ただいま議長から上程になりました条例議案7件、事件議案2件、予算議案19件報告1件の計29件でございます。

なお、追加議案として、人事案件1件が予定をされております。

以上の件につきまして協議いたしました結果、議案の審議順序及び委員会付託の要否についてでございますが、審議順序は議案番号順に行い、議案の委員会付託につきましては、第12号議案 平成25年度武雄市一般会計補正予算(第9回)及び第21号議案 平成26年度武雄市一般会計予算につきましては、所管の常任委員会に分割付託することとし、その他の議案につきましては、所管の常任委員会に付託することと決定をいたしました。

次に、一般質問は8名の議員から29項目の通告がなされております。
抽選結果はお手元に配付のとおりで、質問順序は抽選番号順に行い、1日目、2日目はそれぞれ各4名で、いずれも午前9時開議と決定いたしました。また、質問時間につきましては、答弁を含めて90分でございます。

次に各特別委員会の中間報告でございますが、3月6日の議案審議に先立ちまして報告を行っていただくこととなっております。各特別委員長にはよろしくお願いをいたします。

以上のことを考慮し、検討いたしました結果、会期は本日24日から3月12日までの17日間の期間が適当である旨、決定いたしました。なお、日程等の詳細については、お手元に配布のとおりでございます。

以上で議長の諮問事項に対する答申を終わります。

○議長（杉原豊喜君）

お諮りいたします。会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日24日から3月12日までの17日間と決定をいたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日24日から3月12日までの17日間とすることに決定をいたしました。

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第2. 議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第81条の規定により、2番 山口等議員、5番 山口良広議員、8番 石丸議員の以上3名を指名いたします。

日程第3 議長の諸報告

日程第3. 議長の諸報告を申し上げます。

議長の諸報告については、お手元に配付いたしております文書をもって報告にかえさせていただきます。

日程第4 市長の提案事項に関する説明

日程第4. 市長の提案事項に関する説明を求めます。樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

おはようございます。平成22年4月16日に2期目をスタートして4年、私は常々市議会の皆さんと市民の皆さん、いろいろな方々と忌憚のないフラットな率直な議論を通じて、さまざまな施策を展開してまいりました。

特に私の施策の根幹は、市民の皆様の暮らしの支援と福祉の維持向上でありました。中でも多くの期待を寄せていただいたのが、企業誘致であります。これは、私が8年前、市長に

着任させていただいて以来、最も重要視してきた施策であります。8年間の中でリーマンショックであるとか異様な円高であるとか、さまざまな外的要因で厳しい面はありましたけれども、市内に進出した企業は新武雄病院を含め、8法人に達しております。雇用の創出は1,100人を超えたところであります。

平成2年に分譲開始した、若木町の武雄工業団地は完売をし、また新たな企業誘致の受け皿として開発を進めた武雄北方インター工業団地は、平成23年10月に分譲開始し、昨年秋に流通企業と進出協定を締結。来年には新たに120人の雇用の場が誕生する予定であります。

また、地域所得の向上を目指し、平成23年11月に2品からスタートした自治体発インターネット通販「Japan SG」の取り組みは、インターネット検索サイト大手のYahoo!と、武雄市ほか17の自治体が組むことで、新たに流通革命を起こすまでに拡大、成長しつつあります。

先ほど触れた企業誘致や、行財政改革などの取り組みの成果として生まれた貴重な財源を、くらしを支える、人にやさしい政策として、市民の皆様の福祉の維持向上に生かしていくのが私の市政の根幹であります。

その施策の一つとして、子育て世代を支援する子どもの医療費の助成の拡充を、本年4月から実施をいたしてまいります。先の12月議会において、所要の条例改正を行わせていただき、本定例会に所要の予算をお願いしているところです。

これまでの、小学生、中学生の入院費に加え、通院費、調剤費までに助成の範囲を拡大するもので、義務教育期間中の子どもの医療費は、定額の支払いで済むこととなります。これにより、子育て世代、子育て家庭の負担は、格段に軽減されるものと考えております。

続きまして、教育の充実についてであります。平成25年度は、教育の既成概念を振り払い、新たな視点で新たな取り組みに着手をいたしました。昨年10月、教育監に就任していただいた、元東京都杉並区立和田中学校長、代田昭久氏を中心に、ICTを活用した学校教育環境の整備を着々と進めてきております。2月4日の市議会臨時会におきましては、市内全校の小学生が利用するタブレットなど、ICT関連機器・設置整備費等の取得契約の議案について、議員各位の御理解と御賛同を賜り、可決をいただきました。保護者の皆様、学校関係者などが期待する、児童の学力向上に向けた重要な一歩と受け止めております。

学力向上のもう一つの取り組みが、ソフトであります。予習を中心に、教え合い、学び合うことで、児童の理解を深める反転授業の導入をいたしております。既に電子黒板など情報通信環境を整えている武内小学校、山内東小学校で研究授業を行うとともに、保護者の皆様への説明会も随時、開催をしております。

続きまして、武雄市図書館についてであります。知の拠点として昨年4月にリニューアルオープンした武雄市図書館は3月末で1年を迎えます。先月末までの来館者は78万人を超え、指定管理者制度導入前である平成24年1月末と比べて3.7倍に達し、予想を上回る多くの

方々に御来館をいただいております。100万人突破は、今年の4月中に見込まれていると聞いております。新しくなった図書館では、蔵書の充実はもとより、指定管理者であるCCCを中心に、堀江貴文氏や乙武洋匡氏など、多くの著名人による講演会、トークセッションなども定期的開催をしております。今晚は、あそこに座ってる、代田教育監と対談しておりますので、議員の方は全員御参集いただきますようお願いをいたします。

本から得る知識と情報に加え、新たな産業、文化、価値観を生み出された方々の言葉に直接触れることは、図書館機能をさらに高める試みだと思っておりますし、今、国はもとより、さまざまところが武雄市図書館の挑戦について注目しております。賛否両論あっても当然だと思います。しかし我々は前例にとらわれず、市民の皆さんたち、来館者の皆さんにとって、本当にいい図書館だということを、思っただくような施策を随時応援をしてみたいと、このように考えております。

一番大事な、行財政健全化の取り組みについてであります。私が市長に着任したときは、武雄市はつぶれる寸前でありました。これは、山内町、北方町の多くの基金の積み上げで、やっとこさ救われている状態というのが、武雄市のスタートでありました。そこで私は心を鬼にして、2期8年間、一貫して市民の立場、目線に立っているいろんなことをやってまいりましたが、行財政改革も恐れずひるまず取り組んでまいりました。

まず1期目で取り組んだ市民病院の民間移譲、2期目で取り組んだ図書館の指定管理者への移行は、市民価値の向上に加え、行財政健全化に向けた取り組みの一つであります。

そのほか、保育所の民間移譲、給食センターの民間委託など、民ができることは民でということを旗印に、さまざまな行財政改革を実行してまいりました。私が市長就任して以来、職員数はこの8年間で560人から392人まで削減をしております。

また、家庭でいえば家賃など毎年必ずかかる費用の割合を示す経常収支比率は、私が市長に就任した平成18年度は94.3%でありました。これが平成24年度にはわずかでありますが、87.1%まで改善をしております。

また、家庭での借金に当たる市の借入金の残高は、私の就任当時実に400億円にも達しておりました。平成24年度末は315億円と、85億円の減少をさせています。その一方で、家庭での貯蓄に当たる市の基金は、今後の施策に備える財政調整基金と公共施設整備基金とを合わせて、私の就任当時、33億8,000万円しかありませんでしたが、平成24年度末では2倍以上の71億1,000万円にまで増加をさせています。借入金の減少と基金の増加を合わせると、122億3,000万円の財政効果が認められております。

このさまざまな取り組みによって、来年度は市民法人、法人市民税、個人市民税、合わせて予算ベースでいうと、5%から8%伸びるということを報告を受けておりますので、さまざまな施策がこれからやっと展開できるのかなと思っておりますけど、選挙前ですのでこれ以上言うことはやめときます。

「あれも、これも」ではなく「あれか、これか」で施策を絞り込み、真に市民の皆様の福祉向上に寄与する事業に財源を充当してまいりました。財政状況の好転は、市議会の皆様の、行財政改革の深い御理解があつてこそであります。

なお、昨日の佐賀新聞で大きく取り上げられましたWindows XPの問題であります。教育委員会の持つXP端末は220台保持しております。そのうち、これは替えなきゃいけないというものが220台で、220台のうち80台がすでに3月補正の予算で手当をさせていただいております。40台はソフトで対応が可能であると。要するにXPを例えば7に行うということで、40台はソフトで対応可能と。さすれば220台のうち100台がそのままにして、何て言うんですかね、ネットにつながらないということでWindows XPが持つインフラの脆弱性をカバーするというにしておったんですけど、これは誤解を招きやすい。ですので、この際精査の上必要な対応をしてまいります。1つは追加で利用停止をする。このXPのどうしても更新できないものについては利用停止にする。あるいはどうしてもこれは使わなきゃいけないというものであった場合には、これは更新をしていきます。いずれにしても予算上の手当をしてまいりたいと思っておりますので、議会の皆さんとよく相談をして、年度末までに、手当をしていきたいと思います。

過ちを直すにはばかりのことなかれ。やはり、きのうの佐賀新聞の記事を見て、私自身ショックを受けてまいりました。これはひとえに予算編成権を持つ私の責任であると深く認識しており、ただし指摘があつてかつ市民の福祉維持向上につながるものは早速に改めるということで、今回の措置をさせていただきたいというふうに思っております。

終わりになります。市民の皆様からお預かりした貴重な税金を無駄にせず常に行財政の健全化を念頭に、2期8年間の市政運営を、市議会の皆さんとともに行ってまいりました。まさに、車の両輪でありました。本議会に提案している議案についても、市民の皆様の福祉向上に向け、最小限の財源で最大限の効果を生み出せるよう、知恵と工夫をもって取りまとめ提案しております。

何卒、議員各位の御理解を賜るようお願い申し上げまして、私の説明に変えさせていただきます。今議会もよろしくお祈りいたします。

○議長（杉原豊喜君）

前田副市長

○前田副市長〔登壇〕

それでは続きまして、今定例会に提出しております議案について、その概要を御説明申し上げます。

まず条例議案につきましては、一部改正条例6件、廃止条例1件を提案しております。まず、一部改正条例について主なものを御説明申し上げます。武雄市社会教育委員条例及び武雄市青少年問題協議会条例の一部を改正する条例は、いわゆる地域主権改革一括法の施行に

に伴い関係する条例の改正を行うものでございます。

続きまして、廃止条例について申し上げます。武雄市立保育所設置条例及び武雄市心身障害児通園施設設置条例を廃止する条例は、武雄保育所の管理運営の民間移譲に伴い関係条例を廃止するものでございます。

次に事件議案については、地方公営企業会計制度の見直しに伴う、平成 25 年度武雄市水道事業会計資本金の額の減少について、ほか 1 件を提案しております。

続きまして、予算議案について主なものを御説明申し上げます。平成 26 年度の新年度の予算議案につきましては、平成 26 年度武雄市一般会計予算のほか、7 件の特別会計予算と 2 件の公営企業会計の予算を提案をしております。

本年 4 月が市長改選期に当たりますので、政策的経費については特に当初予算に計上すべきものなどを除き骨格予算として編成をしております。

一般会計予算で主なものとして、消費税率の引き上げに際し、所得の低い方々への負担の軽減、子育て世帯への影響緩和と消費の下支えを図るため、臨時的な給付措置として臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の支給に要する経費を計上をしております。また、県の安心子ども基金特別対策事業補助金を活用して、保育園の移転改築に対する補助金のほか、先ほどありましたように、4 月から小中学生への医療費助成の範囲を、通院とそれから調剤費まで拡大するための所要の経費を計上をしております。

次に、平成 25 年度補正予算議案では、平成 25 年度武雄市一般会計補正予算（第 9 回）のほか、特別会計補正予算 8 件を提案しております。一般会計では、武雄市土地開発公社用地売却に伴う簿価と売却額の差損についての補助金を計上しております。これによりまして、25 年度末の土地開発公社の土地の保有残高は、約 1 億 2,000 万円となりまして、平成 26 年中にはすべての処分ができる見通しとなっております。

そのほかの経費については、国県の支出金の確定あるいは年度内の執行見込みに基づく事業の増減など、補正を計上をしております。そのほか 1 件の専決処分の報告をお願いしております。以上よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

日程第 5 教育長の教育に関する報告

○議長（杉原豊喜君）

日程第 5. 教育長の教育に関する報告を求めます。浦郷教育長

○浦郷教育長〔登壇〕

教育に関する報告を申し上げます。

はじめに、学校教育について申し上げます。

来年度から本格始動する ICT 教育の推進に当たっての、小学校におけるタブレット端末導入につきましては、現在、算数・理科のコンテンツ、動画教材であります。作成を学校と業者との共同で進めております。1 月 28 日には山内東小学校で反転授業の公開授業を行い、

北は北海道、南は鹿児島から 350 名の方が参観に来られ、非常に関心の高さを実感いたしました。また、発達障害に関する講演会・研修会を、1月20日、2月7日及び2月18日に3名の先生方を講師としてお招きし、開催したところです。

学校施設の整備につきましては、1月8日に武雄小学校校舎完成のオープニングセレモニーを、2月20日に山内中学校の起工式を行っております。

続きまして、生涯学習について申し上げます。

武雄市図書館・歴史資料館につきましては、企画展といたしまして、棟方志功展を昨年12月14日から開催したところ、多くの方が来場され、1月13日の最終日までに計1万3,956人の方々に観に来ていただいております。また、2月1日からは特別企画展「九州の蘭学・武雄の蘭学」を3月16日まで開催しております。

さらに、図書館関係では、2月13日に日本ファシリティマネジメント協会の授賞式が東京であり、最優秀賞を受賞したことを報告いたします。

1月3日の成人式では、新成人531名が集い、実行委員の運営で盛大に挙行することができました。また、「武雄市民大学」の閉講式を2月19日に行い、今年度の全ての講義が終了いたしました。

青少年教育としましては、「わんぱくスクールスキー研修」、「北海道雄武町での児童交流」等で、子どもたちは厳しい寒さを体験しながら交流を深めてまいりました。

2月2日開催の「トムソーヤフェスティバル」では、子どもたちが学校や地域での活動を元気に発表してくれました。地域との連携が活発になってきていると感じております。この日を市民総ぐるみで教育を考える日として「たけお教育の日」と定めております。

生涯スポーツの推進につきましては、2月9日に「第6回武雄市長杯ファミリーフットサル交流会」を、2月15日に「関西大学交流事業バレーボール競技教室」を開催いたしました。

次に、文化振興事業では、武雄市民ジュニアウインドオーケストラ育成事業に市内中学校と武雄高校の吹奏楽部員が参加して、1月13日に文化会館大ホールで発表会を開催しました。

文化財関係では、1月26日に第60回全国文化財防火デーに因み、武雄温泉周辺で火災防衛訓練が実施され、文化財を後世に伝える取り組みとなりました。

以上、教育に関する報告をいたします。なお、主な行事等につきましては、別紙一覧表にお示しした通りであります。

今後とも、更なる御指導・御鞭撻をお願い申し上げます。教育に関する報告とさせていただきます。

○議長（杉原豊喜君）

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。どうもお疲れさまでした。

閉 会 10時22分

